

桐田まこと後援会だより

後援会会報発刊にあたって

錦秋の候、後援会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。後援会会長の岸田進明でございます。

さて、皆様に後援して頂いております桐田まことは、本年4月24日に行われました大津市議選におきまして見事に当選を果たすことが出来ました。これは何よりも皆様の熱いご支援と一致団結したご協力のお陰であると深く感謝申し上げます。本当に有難うございました。

新議員も5月から市議会に初登庁、新人で戸惑いもあり苦勞もありましたが、持ち前の明るさ、元気さ、不屈の根性、粘り強さで頑張っていると聞いております。また、昨年からのJR瀬田駅前、博愛保育園での朝立ちも、変わらず継続しております。一年生議員で未熟であります、皆様とのお約束は守っております。こういう姿を見ておられますと、私達もさらに何かしてやりたい、助けてやりたいと思う親心が湧いて参ります。

さて、後援会の活動の一つとして、桐田まこと後援会会報を発刊することになりました。

この会報は会員の皆様に、桐田まことの日々の活動や考え方、市政報告やトピックスなどをお知らせする場として活用いたしたいと考えております。会員相互の親睦と交流も会報の目的であり、ご寄稿もお願いしたいと思っております。

どうか皆様、暖かい目でいつまでも見守って頂きますように心よりお願い申し上げます、本報発刊にあたってのご挨拶と致します。



後援会会長 岸田 進明

支部だより

大江東支部 支部長 山元一茂

大江東支部は、瀬田学区大江東自治会に住む後援会員から成り立っています。この地域は、瀬田学区の東のはしに位置していて瀬田東学区の一里山自治会と接しています。ほぼ中央を横断しているのが旧東海道路で、春秋の季節の良い時ばかりではなく暑い日も寒い日も一年中ハイキングの人々が通り過ぎます。大津市東消防署の横の信号を、坂を登るようにして東海道路を進むと上がりきった道を左に折れて直ぐに「大江千里庵跡」があります。



「月見れば千々に物こそ悲しけれ我が身ひとつの秋にはあらねど」の小倉百人一首の句で有名な大江千里は、平安時代にこの辺りを荘園として持っていて後に庵を結んだと伝えられています。写真に写っているのがその庵跡の石碑で、後ろに写っているのが自治会館です。どこの地域でも同じだと思われそうですが、この辺りもお年寄りの比率が高くなってきています。ほとんどが住宅街ですが、まだ畑や田も残っていて、カエルの合唱やら虫の音など、自然が残る住み易い地域です。ただ、古い町に良くある狭い道路や無計画な家並など問題も多く、したがって行政に対する要望や関心も高い地域です。後援会員は現在140名が登録されていますが、わたし達の努力次第でもっと増えていくのではないかと考えています。

支部だよりを始めます!!

桐田まこと後援会の会員は大津市全域に広がっています。まだ半年ばかりで十分に組織化できておりませんが、瀬田学区内は既に12の支部に分けられています。近いうちには他の学区地域でもそれぞれの地域に根付いた支部が立ち上がることでしょう。この会報でそのような各支部の成り立ちや会員の思い等を紹介して、会員の横のつながりを深めることを企画しました。

後援会の皆様へ

後援会会報 編集部

桐田まことが大津市議として当選を果たし、その時から後援会の拡充が行われました。会長（岸田進明）、副会長（池田清）、幹事長（中谷義弘）、副幹事長（科田輝男）、事務局長（中谷四郎）、壮年部長（内田仁）、青年部長（中谷典生）、女性部長（音野潤子）をはじめとして、瀬田学区12地区の支部長が選任されました。支部に関して現在は12支部ですが、準備でき次第に他の学区地域でも支部を立ち上げることになっています。また各地区での連絡所の設置も急がれています。

規約については、全部を掲載するのは無理があり、抜粋をここに紹介致します。第1条は会の名称を「桐田まこと後援会」とする、第2条は会の目的として「桐田まことの政治信念に賛同し、その政治活動を支え応援すること」です。

第3条には会の活動として、講演会などの開催や資料の配布など必要な諸活動をおこなうことを決めています。11月23日に開催される「桐田まこと市政報告と語り合う会」もこの第3条の活動に該当します。第7条は会費について。会費は無料とし、経費には寄付をもって充てると決められています。他にも規約はありますが主なものは以上の通りです。桐田まこと事務所に全文が保管されていますので、会員の方で見たいと言われる方は申し出て下さい。

政治に詳しい人が居ない状態で発足した後援会でしたが、皆様のご協力を得て、体制が整ってきました。年2回発行予定のこの後援会会報ですが皆様のご支援がなければ続けることは難しいと思います。ご意見ご希望がございましたら、事務所宛お知らせ下さい。どうか宜しくお願いいたします。

桐田まこと活動報告

当選後、半年を振り返って。



皆様にご支援をいただき4月に初当選を叶えていただきました。ここに衷心より、感謝を申し上げます。

当選以降、本当に一日が過ぎるのが早く感じます。本当に、ありがたいことです。地元におきましては、生活に密着した要望を多く賜り、その職責の重さを改めて感じる日々です。その課題の解決に向け、一つ一つをまじめにそして丁寧に取り組んでまいります。無理を可能にする、力強い活動を行ってまいります。

議会におきましても、教育厚生常任委員として、また観光振興対策特別委員として、先輩・同期の議員各位のご指導と協力を得て、のびのびと議会活動に取り組んでおります。

当選以後、5月定例議会と9月定例議会を経験し、両議会において一般質問を行い、大津市行政の姿勢や見解を問いました。また、大津市議会議員の30代の6人のメンバーで「若手大津市議会議員の会」を結成し、政策立案能力の向上に努めており、9月には、幼保一元化をテーマとし、甲賀市及び大津市内の現状把握を目的に行政調査を行ってまいりました。このような活動を重ねて、大津の実情に合致した政策が提言できるように努めてまいる所存であります。

後援会の皆様には、これからも、変わらず叱咤激励を賜りますことをお願い申し上げます。朝の瀬田駅でのあいさつ運動・街頭演説や保育園幼稚園でのあいさつ運動は、わたしの政治の原点であります。継続して、取り組んでまいります。

一般質問の様子

定例議会においての一般質問は、地域と国及び県との関わり方や自分が実現したい施策に関連した中身の質問となるように心がけております。

質問の様子は、大津市議会のホームページから生中継や録画中継がなされており、随時視聴いただける工夫がされています。

5月 定例議会の一般質問（抜粋・要約）

質問 地方分権の進展と大津市の今後の考え方について。

答弁 権限委譲が進むことで、大津市の力量も問われる。市民に一番近い、基礎自治体として与えられた権限を最大限に活かし、活力と魅力ある大津市のまちづくりに取り組む。

質問 JR瀬田駅前広場の再整備について。

答弁 JR瀬田駅は、大津市東部地域の都市核と位置付けている主要駅で、その駅前広場は、交通結節点として重要な施設と認識している。平成21年度に基本計画を作成し、事業化に向けての協議を進めている。

質問 減災の重要性について。

答弁 市民一人一人の高い防災意識が、何よりも減災につながるものと認識している。出前講座等で啓発活動に努め、同時に公共施設の耐震化も行い、減災力の向上に努めている。

9月 定例議会の一般質問（抜粋・要約）

質問 大津市東南部を管轄する拠点警察署の新設の必要性について。

答弁 従来より地域の安全の確保は、重要と考え警察官の増員や駐在所や交番の設置を滋賀県に対して要望してきた。今後は、大津市の東南部を管轄する拠点警察署の新設も含めて、滋賀県・県警に働きかけてまいります。



質問 大津市の水道・ガス設備の耐震力について

答弁 水道管の耐震化率は、38.3パーセントで全国平均の30.3パーセントを上回っている。膳所浄水場と新瀬田浄水場を連絡する瀬田川共同橋の耐震補強は完了しております。ガス管については、受け入れに係る中圧幹線は、耐震化を完了しております。次に各家庭へ供給する低圧導管の耐震化率は、94.3パーセントであり、全国平均81.2パーセントを上回っております。



市政に関するお問い合わせは、お気軽に桐田まこと事務所まで
〒520-2141 大津市大江五丁目35番8の103号

きり た
桐田まこと事務所
TEL/FAX 077-547-4800

桐田まこと ▶▶▶ 検索

桐田まこと活動記 ブログ更・新・中